

『Happist』活用のお願い ～教会と学生をつなぐために～

日々は、学生層育成の上にご丹精いただき、誠にありがとうございます。

さて、15歳からの学生の年代は教理的に重要な意味を持つ年代で、信仰心を養う上で大きな意味を持つ時期でもあります。また、17歳になれば別席を運ぶことができる年齢ともなることから、お道の人材育成の上で、高校生、大学生への働きかけが重要な鍵となります。

そこで、学生への丹精の一助として、教内学生層向けの唯一の雑誌である『Happist』の活用をお願いいたします。

近年、学生はスマートフォンやパソコンを通して、様々なデジタルコンテンツから豊富な情報を得て、疑問や興味に対する答えを導き出すことができるようになりました。その反面、氾濫する情報の中で若者が確かな拠り所を見失ってしまうと懸念されています。『Happist』は、教えを分かりやすく伝えるとともに、道の学生が日頃感じる“なぜ？”に対して教理に基づく考え方を示し、おたすけのできる学生へ丹精するための手だてとなるよう、誌面の充実に取り組んでいます。

『Happist』は、“明日につながる学生マガジン”として、創刊以来、次の5つのねらいをもとに編集・発刊しております。

- 1) お道の教えと情報を正確に伝えるとともに、生き方や考え方を示唆する
- 2) 教理を求める手掛かりとする
- 3) 別席を運ぶよう導くための手立てとする
- 4) 共通の話題を提供し、教内学生相互の連帯感をつくり出す
- 5) 教会と学生をつなぐメディアとして活用する

学生担当の先生方には、『Happist』出版のねらいと役割をご理解いただき、尚一層、『Happist』をご活用いただけるよう、教区・直属を通して教会長様方への働きかけと先生方のお力添えを賜いますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、ご本人に直接お届けする「**個人購読**」は、簡単に手続きできますので、ぜひご利用ください。